

# 日立 ニュー ス

等妨害電波(テレビでは雑音と称している)の多い地域でも安定な美しい画像がえられるよう、真空管には信頼度の高い品種を選び20球という比較的多い球数を使用し、回路的にも無理のない高性能な設計になっている、音声出力も歪(ひずみ)なしで2.5 W の高出力で、スピーカには広音域型を使用しているため迫力のある HiFi 音が楽しめる。

キャビネットは柔い曲線を生かした上品なデザインで、高周波乾燥の高級成型合板製の美しいマホガニ仕上になっている。

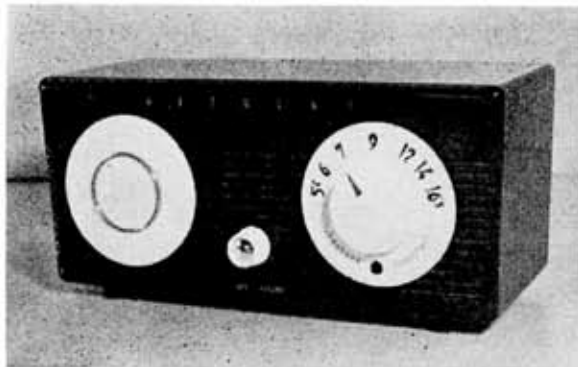
“キメの細かい美しい画像”のキャッチフレーズ通りの評判がいち早く、業界で話題になっているが、日立テレビに採用してある従来にない高忠実度映像回路と完全インタレース(飛越走査)システムが優れている証拠である。そのほか高感度なカスコードチューナ、自動焦点式の日立ブラウン管を使用し、AGC、AFC 等の自動調整回路を備えているので電波の強弱、電圧の変動、画像を乱す妨害電波にも安定な動作をする、つまり“トラブル・フリー”の高級セットとして品質を誇っている。

尚テレビに大切なアフタサービスについては、全国に日立テレビサービス網を設けて、特別教育を受けたサービスマンを配置し、サービス部品を常備して一カ年の無償品質保証期間は勿論後々までサービスに万全を期している。

## 日立ラジオ H-201 型小型 5 球スーパー

Hitachi Miniature Type Radio, Model H-201

2 台目、3 台目に小型なパーソナルラジオの普及が目覚ましくなってきたが、日立製作所ではさきの H-101 型マジックアイ付大型ラジオに続いて、全く新しい機構の H-201 型を発表した。キャビネットは洒落なマホガニ仕上の木製で左右に円いアイボリのプラスチック製



第9図 日立ラジオ H-201 型  
Fig. 9. Hitachi Miniature Type  
Radio, Model H-201

のダイヤルとスピーカグリルを配した、あつさりしていてモダンなデザインである。パーソナルラジオは部屋から部屋へ、あるいは枕元への持運びに便利なのが大切となるが、まず重量は 2 kg 奥行 13 cm で片手で軽く握れる。アンテナ・アースは全然線を接ぐ必要のないアンテナ内蔵式であるから、アース線の長さを心配することもアンテナ線を引きずる煩らしきもない。また蛍光灯や電気器具が多く使われるようになって、雑音に悩んでいる家庭も多いが、内蔵のダストコアアンテナは高感度なばかりでなく、雑音と放送をよく分離するので鉄筋ビルの中では特に偉力を発揮する。一方このアンテナには指向性があつて、ある方向では非常に音量が小さくなるので始めての人は一寸驚くかも知れないが、角度にして 5 度も回せば問題ない。雑音のひどくない所では附属の補助アンテナをつけると指向性はなくなり、感度がさらに高くなつて遠距離受信には便利になる(インピーダンス結合型)。

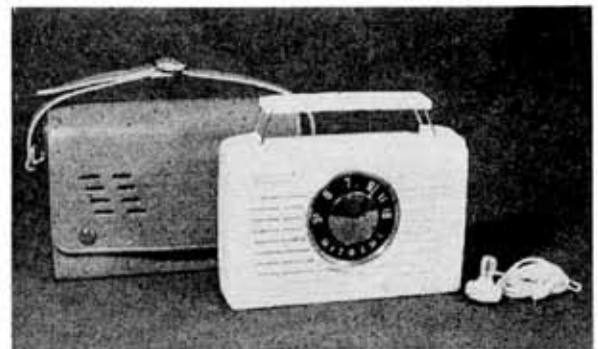
裏から見ると分るが真空管が今迄と違って水平に挿してあるが、これが“垂直シャーシ”という新しい構造で、丈夫なことと回路が合理化されることの特長がある。消費電力が 20W で標準型の半分位の経済型であることも喜ばれる理由である。

## 日立ポータブルラジオ HP-301 型

電池式 4 球スーパー

Hitachi Portable Radio, Model HP-301,  
4-tube, Battery System

超小型、超軽量(電池共 720 g)で感度は標準 5 球スーパー並、音質のよいことも格別という近代人の要求にピッタリくる高性能ポータブルである。デザインは 2 種類あつて派手向のアイボリケースに黒のダイヤルと、おとなし向の薄小豆色(ベージュ)一色とがある。真空管には SF (25 mA) シリーズを使用しているため電池代は従来の  $\frac{1}{3}$  ですむし、バッテリーセーブスイッチの切換を活



第10図 日立ポータブルラジオ HP-301 型  
Fig. 10. Hitachi Portable Radio, Model  
HP-301

用すればさらに経済的に使えるので用途は戸外に限らず、室内でパーソナルラジオとしても利用できる。イヤホンは外部から簡単に切替えられ、また2筒接続して両耳であるいは2人で聞くこともできる。イヤホン1筒と良質な牛皮製のショルダーケースが附属して別に求める必要はない。

### カルフォルニア大学に 日立電子顕微鏡設置さる

Hitachi Electron Microscope Serving  
Scientists at California University

昨年11月日立より米国カルフォルニア大学へ寄贈のため横浜より出荷された日立HU-9型電子顕微鏡は無事現地に到着し日立製作所中央研究所の只野文哉氏、同多賀工場大沼嘉郎氏が昨年米カルフォルニア大学において据付調整を行つた。その結果性能が従来米国内に据付けられている何れの大形電子顕微鏡よりも優れているので、非常な好評を博し2月15日日本総領事館とカルフォルニア大学主催で盛大なレセプションを行い無事に引渡しを完了した。これ



第11図 レセプション当日の写真  
左から只野氏、アンダーソン夫人、大沼氏、カーペンター、  
ビショップ、徳安氏

Fig. 11. From Left: Dr. Tadano, Mrs. Anderton, Mr. Ohnuma, Dr. Carpenter, Dr. Bishop and Mr. Tokuyasu

は我国の電子顕微鏡が外国に据付けられた第1号であり輸出の先駆をなすものとして大いに期待し得るものである。

### 編 集 後 記

本号の日立ニュース欄を見ると、ブラジル向の水車および発電機、印度向の蒸気機関車、エジプト向の車軸旋盤など、各種の海外向製品が完成し、さらにカリフォルニア大学では日立HU-9の型電子顕微鏡が、今まで米国内で据付けられたいずれの大形電子顕微鏡よりも優れた性能を発揮していることが報ぜられている。日本が世界一流の優秀な技術をもっていることを示すニュースとして、誠によろこばしく頼もしい限りである。

あたかも上野松坂屋新館には、世界最初的全透明式エスカレータが出現して世人の注目を浴びている。これは従来不可能視されていた欄干部の全透明化が、日立製作

所の手によつてはじめて実現されたもので、明るさと軽快さを要求される近代建築のデザインにも美事にマッチして東都の人気を集めている。話によれば、このエスカレータは松坂屋の売上増加にも一役買っているといわれ、このため日立製作所には各方面からエスカレータの注文が殺到しているという。

一家一言には昭和電工佐竹社長の玉稿を頂くことができた。日立製作所が電気機械の国産化を目指して発足した如く、昭和電工は化学工業の国産化を念願として創業された。しかも両社は相携えて事業の発展をはかり、ともに今日斯界における我国最大のメーカーとなつたのであつた。化学工業の発展のためには機械工業との密接な提携がいかに必要であるかということ、この一文を読む者は改めて痛感するであろう。

### 日 立 評 論 第38巻 第7号

昭和31年7月20日印刷 昭和31年7月25日発行

(毎月1回25日発行)

< 禁 無 断 転 載 >

定 価 1 部 100 円 (送料 12 円)

© 1956 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人

印刷人

印刷所

発行所

鈴 木 万 吉

本 間 博

株式会社日立印刷所

日立評論社

東京都千代田区丸の内1丁目4番地

電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311

1111, 1211, 1311

振替口座 東京 71824番

広告取扱店

広

和 堂

東京都中央区新富町2丁目16番地

電話 築地 (55) 9028 番